

鯉 城

第79号

広島市中区国泰寺町1丁目2番49号
〒730-0042 広島国泰寺高等学校内

鯉城同窓会

電話(082)241-9777 FAX(082)248-7341

E-mail rijo@orion.ocn.ne.jp

URL https://www.rijo.site

題字は塩田宏司(洲鵬)氏

お願い

創立150周年周年記念事業を成功させるために
皆様の力が必要です！

皆様、こんにちは。国泰寺高等学校は、明治10年の創立から数えて、令和9年に150周年を迎えることをご存知でしょうか？

現在、私たちは150周年に向け、以下のプロジェクトを進めています。

1. 令和9年11月20日

記念式典・講演会・

祝賀会の開催

2. 教育環境の充実

後輩たちがより高度な学びに挑戦できる環境

の提供

3. 歴史の継承

記念誌および記念品の制作・販売

これらはすべて、国泰寺高等学校を愛する私たち同窓会と、学校・PTAが手を取り合って進めている事業です。

しかし、現在大きな課題に直面しています。令和8年1

月から募集を開始した寄附金
が、7月時点で目標の4,000万円に対して約1,000万円という厳しい状況にあります。このままでは、予定

している後輩たちへの教育支援を十分に届けられない恐れがあります。かつ、物価高騰

による資材費上昇を考慮すると一部計画変更の可能性もあります。寄附金の募集期間は

令和10年3月31日までです

が、寄付金控除となる期限は

令和8年12月31日です。

少額からでも構いません。

「母校のために何かしたい」という皆様の温かいお気持ち

が、150周年を成功に導く唯一の原動力です。

皆様の力を結集し、最高の

形で150周年を迎え、これからの未来を担う後輩たちのために、お力添えをお願いします。

(副会長 小林 秀吉)

寄附金口座

広島銀行 三川町支店 普通

口座番号 3446389

1口 3,000円から (何口でも)

※振込時に卒年とフルネームの情報を入れてください

<例> 昭:S 平:H 令:R

H01 コクタイジ ヒロ

母校のため
皆様の
お力添えを
お願いします

探究教室イメージ



1F



2F

会長ご挨拶

会長
渡部公磨
(昭49年卒)

皆様には、平素より鯉城同窓会の活動に對しまして温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年来、総会や各種事業をはじめ、地域ごとの交流活動などを通じて、多くの皆様とご縁を深めることができました。これもひとえに、同窓会活動を支えてくださる会員の皆様、並びに関係者の皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。

鯉城同窓会は、卒業年次や職業、居住地を超えて母校への思いを共有できる貴重な場です。世代を超えた交流の中で先輩方から受け継がれてきた伝統や精神は、今もなお私たちの大きな財産となっております。

そして、いよいよ来年、わが母校は創立150周年という大きな節目を迎えます。明治期に東京や京都で始まった

有志による親睦会を起点とし、大正期には正式な組織として同窓会本部が発足しました。戦後は学制改革に伴う混乱期を経て、複数の同窓会組織が統合され現在の鯉城同窓会となります。一世紀半にわたり連綿と受け継がれてきた歴史の重みを思うとき、先人のご努力と母校への深い愛情に改めて敬意を抱かずにはいられません。

150周年は、これまでの歩みを振り返るとともに、新たな未来への第一歩を踏み出す機会でもあります。記念事業や記念行事を通じて、より多くの同窓生の皆様にご参加いただき、世代を超えたつながりをさらに広げていきたいと考えております。

これからも鯉城同窓会が会員相互の親睦を深め、母校の発展を支える存在として歩み続けられるよう、役員一同力を合わせて取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、来る創立150周年の記念の年が、鯉城同窓会にとって実り多き一年となりますことを心より願ひ、御挨拶いたします。

寄附者のご芳名

卒年別寄附者人数

卒年(和暦)	人数	卒年(和暦)	人数	卒年(和暦)	人数	卒年(和暦)	人数	卒年(和暦)	人数
H18年	2	S62年	1	S47年通	2	S36年	6	旧職員	5
H19年	2	S62年通	1	S48年	9	S36年定	2	S24年⑤	1
H22年	2	S63年	2	S49年	23	S37年	9	S24年鯉	1
H23年定	1	H元年	3	S50年	12	S38年	6	S24年鯉①	1
H24年	3	H2年	1	S51年	11	S39年	4	S24年鯉併	1
H25年	2	H3年	1	S51年通	1	S39年通	1	S24年鯉定	1
H26年	1	H4年	3	S52年	14	S40年	8	S25年	1
H27年	1	H5年	1	S52年通	1	S41年	12	S26年	1
H28年	3	H6年	1	S53年	11	S42年	19	S29年	2
H29年	1	H7年	2	S54年	16	S42年通	1	S29年定	1
H30年	1	H8年	2	S54年通	1	S43年	24	S30年	5
R2年	2	H9年	1	S55年	13	S43年定	1	S30年定	1
R4年	2	H9年定	1	S55年通	2	S44年	10	S31年	9
R5年	2	H12年	1	S56年	8	S44年定	1	S32年	8
R6年	1	H13年	1	S57年	5	S45年	15	S33年	10
R7年	3	H14年	2	S58年	8	S46年	11	S33年定	2
R8年	4	H15年	1	S59年	14	S46年定	4	S34年	8
		H16年	1	S60年	5	S47年	6	S35年	9
		H17年	1	S61年	7	S47年定	1	S35年定	2

150周年寄附金へのご協力に心よりお礼申し上げます。
ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、
ご芳名を掲載させていただきます。

※7月22日現在 (50音順)

企業

檜垣ITコンサル合同会社
薬膳薬局
株式会社あさがお乳食
株式会社弘法
株式会社寺田屋
株式会社ミナガネット
共立テント
カワダ株式会社
有限会社テクノ
有限会社橋本塗装
社会福祉法人広島光明学園
バレー部OB/OG会
S49有志
S53卒3年5組有志
鯉城関西同窓会
S50同期会
S52同期会
S60卒同期会
東京4つて3ん会

団体

寄附者名の掲載は印刷物の会報だけとし、
インターネット上(ホームページ)では
個人名の掲載は見送ります(鯉城同窓会)

令和7年度 決算 ・ 令和8年度 収支予算

I 一般会計
(収入の部)

(単位:円)

科 目	令和7年度決算額	令和8年度予算額	説明および摘要
1 前年度繰越金	5,687,262	7,925,008	
2 会費収入	5,897,007	5,882,000	
会費	5,897,007	5,882,000	決算 R8 新入会員入会金、年度会費、旧終身会費 (S50 ~ S63) 予算 R9 新入会員入会金、年度会費、旧終身会費 (S51 ~ S63)
3 寄附金収入	5,317,433	3,600,000	
サポーター制度寄附金等	4,823,433	3,000,000	貯金事務センター口座払込 広島銀行三川町支店口座振込
当番幹事寄附金	494,000	600,000	
4 雑収入	1,392,805	1,460,000	
会報支援広告	802,000	1,000,000	会報「鯉城」第78号への広告掲載
利息等雑収入	590,805	460,000	受取利息、CD(校歌)販売・奨学財団事務受託費ほか
5 当期収入計(2+3+4)	12,607,245	10,942,000	
6 収入合計(1+5)	18,294,507	18,867,008	

(支出の部)

科 目	令和7年度決算額	令和8年度予算額	説明および摘要
7 事業支出			※物価上昇率≒8%強で資産 ※消費税(10%)を含む見積金額を参考
会報発行費	3,923,282	4,000,000	郵送用封筒作成、会報「鯉城」第78号21,000部、寄附依頼、年度会費 納入依頼、住所変更届等の印刷、封入(セトフツ)及び宅配ほか
HP更新・システム管理更新等	703,966	800,000	会員アプリ用、二木会用、事務用(PC・スマホ代及びWiFi使用料、web更新・保守 管理等)、zoom年間契約料、HP更新管理など
二木会助成	1,000,000	1,000,000	二木会・総会運営等、当番幹事活動費
消耗品費	661,387	720,000	コピー紙等事務用品、その他消耗品・印刷費その他
通信運搬費	544,956	600,000	郵便切手・幹事会案内等はがき及び資料送付宅配等 NTT基本料金及び利用料金等通信関係
会議費	71,650	100,000	役員会・幹事会及び各委員会活動等各種会議に要する経費
顕彰費	413,070	180,000	会長顕彰「顕彰桶」作成(予定=14名)
母校振興費	770,490	850,000	母校生徒への支援(「校友会活動支援」、「卒業式=file」等に係る経費)
一中慰霊碑献花料	564,341	385,000	単価(月2回)×12ヶ月+特別2回(入学式・卒業式) 一中慰霊祭に係る経費の支出(一定額は補助金で戻入)
運営・管理費	1,716,357	2,275,000	会員への弔電等 事務室電気料・空調料電気使用料 同窓会館の維持管理に要する経費(修繕・保守点検を含む) 振込手数料等 事務運営・管理・書類作成等 退任・異動教職員への饗別等をはじめ、会長が必要と認めた経費の支出
8 当期支出計	10,369,499	10,910,000	
9 次年度繰越金	7,925,008	7,957,008	
10 支出合計(8+9)	18,294,507	18,867,008	

II 基金

科 目	令和7年度決算額	令和8年度予算額	説明および摘要
鯉城同窓会基金		8,079,757	
教育振興基金		16,500,000	

栄えある顕彰(敬称略)

〈叙勲関連〉

(令和8年度春)

▽瑞宝中綬章

河原 道夫Ⅱ昭和38年卒

(広島大学名誉教授)

▽瑞宝中綬章

大原 豊Ⅱ昭和46年卒

(元大竹市副市長)

▽瑞宝双光章(警察功労)

山中 宏紀Ⅱ昭和45年卒

▽瑞宝双光章(消防功労)

毛利 徹Ⅱ昭和55年卒

11月21日に
同窓会総会

鯉城同窓会は、今年の総会・
懇親会を11月21日(土)に、

広島市中区のリーガロイヤル
ホテル広島で開催する。総会
は例年どおり午後4時から、
懇親会は5時から。
会費は前売り8000円(当
日売り9000円)。当番幹事
は平成15年卒業生が務める。

◇人事◇財務委員長就任
窪川原康登Ⅱ平成2年卒

お知らせ

会報「鯉城第80号」は、母校
の創立150周年記念式典・
講演会などを掲載するため、
発行は2027(令和9)年
12月になります。ご了承ください。

鯉城関西同窓会 総会

令和9年3月22日(祝・月)

開催 11時～

ホテル阪神大阪

鯉城東京同窓会 二水会

令和8年11月の土曜日

開催 15時～17時(予定)

広島お好み焼き屋(予定)



しめやかに 一中慰霊祭

原爆投下から81年となった今夏、犠牲になった旧制広島一中の生徒と教職員の慰霊祭が7月19日、国泰寺高校の「追憶之碑」前で執り行われた。

遺族の高齢化などを踏まえて昨年から開催方式を改め、今年も一中遺族会と高校、鯉城同窓会で作る実行委員会による主催となった。また、昨年と同様、開催日をこれまでの7月第4週から1週間繰り上げた。

生徒代表と同窓会代表による折り鶴の献納に続き、渡部公麿同窓会長は式辞で「尊い犠牲の上に今を生きる私たちがある」と述べ、平和を守る心を次世代につないでいく決

意を誓った。校友会長の藤原小路さんは追悼の辞で「私たちは幸せな時間を過ごしているが、当たり前のことではない。平和のため自分にできることを考え、実行していきたい」と述べた。

吹奏楽部員の演奏による「鯉城の夕」の献歌に続き、放送部員2人が遺族の手記集「星は見えている」から息子を亡くした母親が執筆した一編を朗読した。その後、参列者が碑前に花を手向けた。

高校はこの日を「平和探究の日」と位置づけ、生徒は教室のモニターで慰霊祭の中継を見たほか、平和について主体的に向き合う授業があった。



追憶之碑前に設けた祭壇に献花する参列者

平和、希望を胸に活動

チームHIROSHIMA

こんにちは。令和7年卒業生で、現在広島大学2年の小林芽衣です。

さて、今年度より同窓会報に「チームHIROSHIMA」の特集ページを設けていただくこととなりました。今回は、私たちの活動内容と近況についてご紹介いたします。

チームHIROSHIMAは国泰寺高校の現役生及び卒業生によって構成される平和活動団体で、現在は大学生4人、高校生5人の計9人で活動しています。

「何の肩書きも持たない私たち学生でも、被爆体験を風化させないために活動したい」という思いから、2025年春に同級生と2人でチームを立ち上げました。志ある後輩が次々と加入してくれたおかげで、現在は当初の4倍以上の人数で活動しています。月に1度のミーティングでは、活動予定の確認に加え、各自が興味を持っているニュースや本を紹介して意見交流を行い、有意義な時間を過ごして

います。

昨年3月と今年の5月には平和学習イベントを開催しました。昨年は、被爆体験をロールプレイ形式で考えるイベントを企画し、事前準備として3人の被爆者のもとにお話を聴きに行きました。

今年5月のイベントでは、被爆者の内藤愼吾さん、才木幹夫さん（一中卒）、広島大学のファンデルドウス瑠璃先生をお招きし、トークセッションを行いました。「被爆者と共に語る」という参加型の企画にするため、参加者からの質問をもとに会を進めました。当日は約90人が参加し、戦時下の学校生活や戦後の思い出などについて活発な質問が交わされました。

今回のイベントは、メディアを通してチームHIROSHIMAを知った同窓生の方が、一緒に平和学習会を企画したいと連絡をくださったことがきっかけです。

年代を超えて国泰寺高校の同窓生と共に活動できたこと

は、大きな励みとなりました。今後も一層力を入れて、活動してまいりますので応援よろしくお願いいたします。

「平和を紡ぐ」。同窓会として被爆体験をどう伝えていくのか。その一端として、若い世代の平和活動を紹介し、支援するページを新たに設けました。若者の平和への思いを受け止めてください。

（会報編集委員会）



変わる二木会

伝統をつなぎ 新たな風を

平成15年の卒業から20年余り。昨年7月、在学中に担任等でお世話になった森田前校長が講演された二木会で、私たちは同級生と久しぶりに再会しました。

今年度は当番幹事として、伝統を守りつつ新しい風を吹かせたいという思いで【革新】をテーマに活動しています。低調である若い世代への二木会参加を目標に掲げ、インスタグラムを開設する等、新たな情報発信も始めました。

6月の二木会は母校の文化祭に合わせて校内で開催しました。初めての試みとなりましたが、二木会に新たな彩りを添え、校内で開催することで現役生にも同窓会の活動に触れてもらう、そしてどの世代の同窓生にも喜んでいただける場を提供したいという思

いで企画しました。文化祭見学に加え懇親会も開催し、食堂のカレーを囲みながら部活動紹介や現役生との交流を楽しみました。後輩たちの熱い思いに触れ、目頭が熱くなり、母校への誇りを改めて感じる機会となりました。

今後の二木会ですが、阿部新校長やカープOBのご講演、同窓会としては初のドラゴンフライズ観戦を予定しています。また、会場は広島駅近くのカフェでの開催を企画したり、「二木会」の名の粹

革新



を越え、金曜の開催も企画しています。開催曜日や会場についての皆様からのお声を参考に、時代の変化もふまえ柔軟に対応してまいります。多

くの同窓生の皆様とのご縁を大切に一年間活動させていただきます。
平成15年卒 月橋 慶
(当番幹事 事務局長)

《二木会》

毎月第2木曜日の夜、広島市内のホテルなどを会場に開催されるミニ同窓会。昭和36年3月に始まり、同窓会員や恩師たちによるゲストスピーチを楽しんだ。時には、落語家や広島カープ監督経験者と

いった外部講師の話や、室内合奏団のコンサートも。担当の当番幹事が講師選びなど工夫を凝らし、平成25年9月に500回に達した。その後も、同窓会総会が開かれる11月を除き、毎月開催を原則

に集った。最近では、隔月での開催や、マツダスタジアムやエディオンピースウイングスタジアム、母校の国泰寺高校など会場も多彩になっている。今年7月で605回を数えた。

鯉城東京・鯉城関西同窓会 活動紹介

鯉城東京 同窓会



鯉城東京同窓会幹事長の檜垣徳行（昭和54年卒）です。鯉城同窓会には、東京地区の同窓会活動にご協力頂き、感謝しております。

今回は、2025年度の鯉

城東京同窓会の活動内容について、鯉城同窓会の会員の皆様に、情報共有をさせて頂き



2. ゴルフ同好会の活動

ゴルフ好きが集まり、年に1度、コンペを開催しています。ラウンド終了後は、上位者・ドラコン・ニアピン・ベスト

1. ウォーキング同好会の活動

史跡・名所をゆつくりと散策する街歩きや自然を満喫するハイキングなどを同好の士で楽しんでいます。昨年の春は「お札と切手の博物館」の見学や王子稲荷神社の散策をした後、桜並木が有る公園で、17名が車座になり、賑やかにお花見をしました。

3. サッカー部OB会の活動

国泰寺・附属・修道の三校

グロス・ブービーの各賞の表彰を行い、健闘を称え合っており、盛りがついています。国泰寺・附属・修道の三校対抗戦を主催した事も有ります。



対抗戦を東京でも開催しています。東京では国泰寺が強く、

5連覇した事も有ります。50才以上の広島出身者の「広島チーム」に加入し、月に1度の交流戦に参加しています。広島チームでは、附属・修道・学院等のOBはチームメイトなので、試合後の打上げで懇親を深めています。

鯉城関西 同窓会

この度、会長に推挙いただきました田向啓二（昭和52年卒）です。鯉城関西同窓会、第9代目の会長となり、改めて責任の重大さを感じております。

ここ関西の地に鯉城関西同窓会が誕生して今年で20周年を迎えます。私は第1回の「設立総会」から参加しました。昭和52年卒業の私は母校を卒業して30年ほど経っておりましたが当時は関西在住の同期生の情報もないなかで同窓会設立の連絡をいただき出席することが出来ました。総会では先輩方の母校を想う熱い気持ちと非常に多くの先輩が出席されていたことを記憶しております。その後も総会やトー

ク&昼食会、史跡巡りなどイベントやその後のお酒の席での会話が楽しく、何度かイベントに参加するうちに学年委員、幹事を経て今日に至っております。

さて、20年の節目になりますが、私も歴代の会長になり鯉城関西同窓会の会則第3条「伝統ある校史、校風、校誉を共有伝承し、会員相互の親睦福祉をはかり、母校の発展向上に寄与することを目的とする」の精神を忘れずに鯉城関西同窓会の伝統を大切に

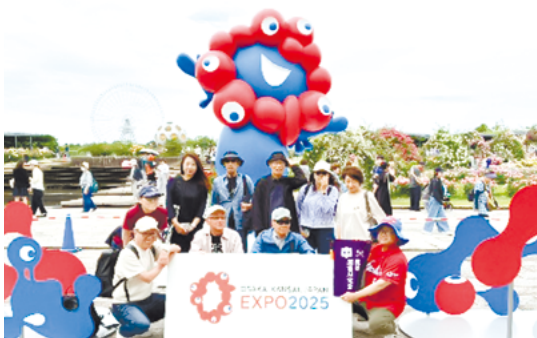


運営してまいります。また鯉城関西同窓会のスローガンで

ある「Enjoy鯉城」のもと、会員の皆さまとともに楽しく明るい同窓会を目指してまいります。

さて、鯉城関西同窓会には3月「総会」8月「トーク&昼食会」の公式行事のほか「史跡めぐり」「ワインで遊ぶ会」などの同好会とサッカー部、陸上部などのOB会があります。今回は5月23日に行われました陸上部OB会主催「2026春のラン&ウォーク」について紹介します。

開催場所の万博記念公園は



1970年大阪万博の跡地で大阪府吹田市にあります。ちなみに昨年開催された大阪・関西万博の会場は大阪市此花

区の大阪湾に面した場所にあります。

当日の天候は曇りで風が吹けば涼しく感じられ、歩くにはよい天候でした。午前10時30分に公園入口に集合して昨年の関西万博のマスコットの

ミyakミyakの像が公園入口とバラ園に移設されており記念撮影など行いながら、昭和31年卒の遠藤先輩をはじめ12名の参加者は正午までの1時間半、会話を楽しみながら万博記念公園内を散策しました。

お待ちかねのバーベキューでは強風の中、美味しい料理とビールを堪能しました。

2次会は12名全員が参加し、大阪駅近くの居酒屋で行い、楽しい一日を締めくくりました。「ラン&ウォーク」は4名

の陸上部OBが幹事を務め春と秋の2回行っております。「ラン」と付いていますが毎回走る者は誰もおりません。皆さん気軽に会話と散歩を楽しんでいます。

OB講演会

サイエンスの楽しさ語る

「指先が教えてくれる脳のサイン」

昭和59年卒
神鳥明彦さん

今年度のOB講演会は6月17日、(株)日立製作所研究所開発グループNext Research技術顧問の神鳥明彦(かんどり・あきひこ)さん(昭和59年卒)を招いて開かれた。

神鳥さんは工学博士・医学博士を取得されている。OB

講演会では「指先が教えてくれる脳のサイン」の演題で、自身が関わってきた研究・開発などから最近のノーベル賞の傾向などにも言及しながら、サイエンスの楽しさについて熱く語った。

1965年生まれ的神鳥さんは「帰宅部で根性無しの高校生でした」と



振り返りつつ、「医療機器を作って命を救いたい」という思いを抱いていたという。医用生体工学研究ではトップララスの上智大学理工学

部に進み、卒業後は日立製作所中央研究所に入り研究者の道を歩んだ。

指先の動きから、見えない脳の動きをデジタルデータとして可視化し、認知症を早期に検出できる磁気式装置を開発するなど、数々の研究開発を手がけた。関連する複数の学会で役員を歴任し、受賞歴も多数。電気電子情報分野で著しい業績を上げた学者の最高位の称号である「IEEE Fellow」を2020年1月に取得した。

トップレベルの研究者である神鳥さんが生徒たちに強調した言葉は「失敗を恐れないこと」。いちばんの研究開発は、

計算ミスをきつかけに思っていたという。さらに別の医学者から受けた相談が医学的なニーズの気付きと共同研究につながり、新たな装置の開発へ。「イノベーションとは、失敗と偶然の連鎖を面白がる心から生まれる。その醍醐味を皆さんにも味わってほしい」と自身の経験を踏まえて語った。

情報科学が急速に進歩する時代に、現代のサイエンスは物理学や化学、医学といった分野の境界線が消えていき、異なる分野が融合していくことで画期的な発明につながる。神鳥さんは「目の前の失敗を恐れず、偶然を愛する。好奇心と命を救いたいという思いがあれば、世界を変える研究にたどり着けます」と生徒たちに語りかけ、「大事なことは自分で考えること。サイエンスは、最高に楽しい」と締めくくった。

母校は今

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校に

本年度から、先進的な理数系教育を通じて国際的な科学技術人材を育てる文部科学省の事業であるスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されました。そして、今回採択された「文理融合基礎枠」は、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」を融合させ、「総合知」を創出できる人材の育成を目指すことを目標としており、本年度、全国で3校しか選ばれていない指定校の枠組みです。

本年度から、先進的な理数系教育を通じて国際的な科学技術人材を育てる文部科学省の事業であるスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されました。そして、今回採択された「文理融合基礎枠」は、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」を融合させ、「総合知」を創出できる人材の育成を目指すことを目標としており、本年度、全国で3校しか選ばれていない指定校の枠組みです。

本年度から、先進的な理数系教育を通じて国際的な科学技術人材を育てる文部科学省の事業であるスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されました。そして、今回採択された「文理融合基礎枠」は、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」を融合させ、「総合知」を創出できる人材の育成を目指すことを目標としており、本年度、全国で3校しか選ばれていない指定校の枠組みです。

教頭
下高呂 元成

広島県立広島国泰寺高等学校(公立)【IV期・文理融合基礎枠】スーパーサイエンスハイスクール事業取組概要

広島発、科学の叡智を結集して平和構築に挑む共創型科学技術人材育成システムの開発

育成を目指す科学技術人材像

社会の複雑な諸課題を多角的・多面的に捉え、科学技術を駆使して持続可能で平和な社会の構築を目指し、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた総合知を創出し、新たな価値を創造する共創型科学技術人材

本校が考える「文理融合」の二つの側面

- ① 理系・文系の視点からクリティカルに物事を捉え直し、世界を多角的・多面的にみる視点を育てること
- ② 自然科学のみならず人文・社会科学も含めた総合知を創出し、新たな価値を創造すること

拡げる

研究成果の検証と全国の高等学校への共有・普及

広島県国泰寺

○成果の検証

- ・校内ルーブリック評価と外部アセスメント (AIGROW等) の結果を照合
- ・卒業生追跡調査

○成果の共有・普及

- ・ワークショップ、シンポジウムの開催
- ・科学研究指導者研修会開催

広島県教育委員会

○広島県科学セミナーの主催

- ・教員向け科学研究講座
- ・生徒向け科学研究ワークショップ
- ・研究成果発表会の開催

全国理数系・文理融合コンソーシアム

○理数系コンソーシアム内での共同研究

- ・SSH指定校
- ・理数コース・理数科設置校
- ・理数探究実施校

深める

物事を理系・文系の視点から捉え異分野の知見を融合させて総合知を創出し科学的に探究する共創型探究カリキュラムの開発



つなげる

小中高大を接続した系統的・持続可能な共創型科学技術人材育成体制の整備

大学・企業

- AP (アドバンス・プレースメント)
- ・研究室訪問
- 卒業生 ○STELLAプログラム (広島大学)
- SIPプログラム (広島大学)

TAバンク

- 学びのフィールドリンク
- ・探究への指導・助言
- ・OB・OG講演会等
- ・OB・OG訪問

プロジェクトK

- 小中学生向けアウトリーチ活動 (模擬授業)
- ・研究紹介
- ・体験型ワークショップ
- 生徒主催によるサイエンスカフェ
- 青少年のための科学の祭典

小・中学生

これまでの成果

- SSH
- ・科学的探究力と国際性の両立を図る多様な実践の積み重ね
- ・国内外の科学コンテストで多数の受賞実績
- ・国際共同研究の実施

「総合知」による再設計

- WWL
- ・文理融合的な探究活動の実践
- ・Stanford大学・広島大学との連携による先進的な学び
- ・WWLマスタールーブリックの作成・活用
- DXハイスクール
- ・統計的手法を意識した探究の増加
- ・AIの効果的な活用

課題

- ・生徒の自己評価と教員の評価を区別して成果を測る
- ・外部への情報発信・成果の還元
- ・系統的な人材育成体制
- ・多様な考え方に触れることで思考を深める力『理数コース』
- ・課題解決型学習における主体性の涵養『普通』

自律した生徒の育成に向けて

新校長抱負



阿部 由貴子
新校長

技術の進展を実感し、わが国では、深刻さを増す少子化・高齢化、生産年齢人口の減少、気候変動に伴う自然災害の激甚化など、社会や経済の先行きに対する不確実性が高まっています。

このような状況の中、これからの社会で活躍する生徒たちには、本校の授業をはじめ、教育活動の中で、学びの楽しさや意義を体感し、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる力を身に付けてほしいと考えています。そのため、本校では、あらゆる教育活動において自律した生徒を育む取組を実践しています。

本年4月に着任しました校長の阿部由貴子でございます。鯉城同窓会の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動の推進に際し、多大なる御支援・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、令和9年度には、創立150周年を迎える、歴史と伝統ある広島国泰寺高等学校に勤務させていただくことについて、大変光栄であるとともに身の引き締まる思いであります。微力ながら全力を尽くしていく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、世界規模での産業構造の変化やAIなどデジタル

平和構築に挑む共創型科学技術人材育成システムの開発」という研究課題を設定し、学校全体で組織的に、自然科学のみならず、人文科学や社会科学も含め、総合的な知の創

同期会だより

昭和33年卒

昭和33年3月の国泰寺高校新聞一面の見出しに

”人生に船出する第九期生
今日晴れの卒業式
栄誉の功成った349名”

九期生は、昭和21年国民学校入学・30年最後の学区選択制で国泰寺に入学・33年校庭での卒業式。

造を目指すとともに、生徒一人一人が持続可能な平和な社会で活躍してほしいとの願いをもち、教職員一丸となって取組を進めてまいります。

終わりになりますが、鯉城同窓会の益々の御発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、引き続きの本校教育活動への御支援を賜りますようお願い申し上げます。

同期の絆は太く、昭和48年東京、51年広島で「紫旗の会」が発足。広島・東京・大阪・名古屋の歴代幹事のご尽力により活動が続けて参りました。

昭和63年からは全国に声を掛け、卒業30周年・50周年、還暦・喜寿・傘寿を祝う会を開催してきました。

それぞれ歩んだ人生航路も最後の港が見え始め、母港広島のリゾートホテル32階から母校の旧校区を眼下に「米寿の宴」を開催いたしました。

した。

参加は、札幌はじめ県外からの8名を含め50名、ホテルには来られなかったが紙上参加の110名と共に総勢160名で賑やかな一時を楽しみました。



卒業後70年、久々の再会も一言二言、たちまち通じる同期の絆を改めて実感した集いでした。

「校歌」斉唱に始まり「鯉城の夕」の合唱でサッカー部の応援や体育祭の練習を思い出しながら2年後「卒寿の宴」での再会を期し盛会裏に散会いたしました。

(紫旗の会 会長 奥窪 忠)

昭和42年卒

喜寿同期会に思う

一昨年、「コロナの影響も落ち着いたし、そろそろ同期会をやるうやー。節目の歳でもあるし。」との声が出始めた。前回開催が、令和元年で、数年経っている。

もう、そんな歳かい。

さて、「喜寿」の祝いだが、本来、「数え年」での祝いだが、近年では、「満年齢」で祝うのが多いようである。

同期生には、昭和23年と24年生まれの者がいるので、開



催は、翌年の令和7年とし、同年4月の花見昼食幹事会か

らクラス幹事が数回集まり、準備を進めた。

現在の我々高齢者の身体や生活に添える開催の時期・時間帯、会費等を考慮して会場を探し、10月4日(土) 13時からとし、案内・通知したところ、参加者数は予想を上回り、73名(前回48名)となった。当日は、同じクラスの者が

同じテーブルになるように配席しており、着席するなり、近況や懐かしい話に花が咲く。プロ歌手として活躍している2人の女性の歌唱も花を添え、アツという間の2時間半。

惜しみながらロビーに出て、集合写真撮影!(写真は広告集「元気でね!」を口々に散会。

戦後、「団塊世代」として人口増の中で生まれた我々が「少子高齢化」「人口減少」、世界では、悲惨で無意味な戦争が続く時代に生きている。同期生の、いや世界の人々の「まめで!長寿」を祈る。

(竹島 宗雄)

昭和43年卒

昭和43年卒の喜寿(77歳)同期会が6月10日、広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で開かれ、86人が参

加した。

今回はランチを中心にした昼の開催。広島市立大学名誉教授吉井章君の開会のあいさ



つの後、63人の物故者を偲んで黙とう。鯉城東京同窓会の会長浜田景介君が乾杯の音頭を取り、会はなごやかにスタートした。

われわれの期は本来10クラス約550人。会場のテーブルでは、思ひ出話や談笑の輪が広がった。宴たけなわのタイミングで、各クラス代表や遠方からの参加者がステージに上がり、近況を報告し合った。

学年代表幹事の迫孝治君の司会のおかげで、会は終始スムーズに進行。雰囲気盛り上がる中、最後は「鯉城の夕」の斉唱で締めくくった。クラスごとに分かれての二次会も軒並み盛況だったよう。翌日のゴルフを楽しみ、さらにその夜の懇親会を楽しんだケースもあった。

(大石 一朗)

昭和50年卒

「古希」と「高卒50年」をきっかけに、昭和50年の卒業生が2025(令和7)年10月18日、広島市中区のリーガロイヤルホテル広島で同期会を開きました。約130人が参加。半世紀前の高校生活の思い出話をたつぷり楽しめました。

会は助友正和代表幹事の挨拶に続き、恩師の三上嘉彦、脇康治両先生の乾杯で始まりました。「元氣じゃったん?」

こんな言葉を挨拶代わりに1組から9組まで3年の組別に設けられたテーブル席で談笑した後、1年で同じ組やクラブ活動で一緒だった仲間の近くに席を移ったり、ガラス片手に立ったまま集まったり。尽きない話に夢中になってい

ました。

また、組別のラインが立ち上がり、SNSを使った今風のつながりも深めました。中には、「卒業後にたばこを吸った、酒を飲んだを真っ先に自慢してほしくない」と熱く説く担任の若き声を収録したデータがラインにアップされ、あの日のホームルームの再現に感激する参加者もいました。

全員が3年と1年の組別に登壇して記念撮影。お決まり



の「鯉城の夕」斉唱では、応援団経験の男性2人に加えて女性1人が飛び入り参加して壇上で演舞を披露し、拍手喝

采が起きるほど盛り上がりま
した。

最後に、高い場所からカメ
ラを構える撮影者を見上げる
スタイルで全体の集合写真を
撮り、予定の3時間を超えて
閉会しました。

(幹事一同)

昭和60年卒

令和8年5月2日、ホテル
グランヴィア広島にて、昭和
60年卒(ろくまる)による「広
島国泰寺高校ろくまる還暦
会」を開催しました。

実は、一つ上の先輩方が前
年度、同会場で120名を超
える還暦会を開催。それを意
識しつつも、そのような盛大
な会にならなくても良いか
ら、ろくまるらしいアット
ホームで和やかな会にしよ
う。当初は、そんな思いでス
タートしました。しかし、日
を追うごとに各クラス単位で
の団結力が高まり、最終的に
165名という驚きの人数に
なっていたのです。

当日は、卒業以来42年ぶり
の再会という人たちもいまし
たし、顔と名前が一致せず、
卒業アルバムを持参して、確
認する姿もあちらこちらで：

(笑)。

そんな中、最大に盛り上
がったのが、高校時代の昔懐
かしい写真を当時のヒット曲
や合唱祭のときに歌った曲な
どに乗せたスライド上映でし
た。

「若いなあ〜！懐かしい
なあ〜！」と言いつつながら、



笑いあり、涙ありの15分間上
映。参加者全員が42年前にタ

イムスリップしていたのは、
言うまでもありません。

この度の還暦会で、感じた
ことがあります。それは「年
を取ることで、悪くない！

追悼記

“関西に巻幡あり”
初代会長 巻幡 展男さん
(昭和22年卒)

鯉城関西が誕生して20余年、
初代会長の巻幡展男先輩が本
年2月5日、ご家族の見守ら
れる中、ご逝去されました。
享年96歳。

巻幡顧問！よく覚えていま
す、平成17年「物故者法要祭」
後の晩秋、「天津さん！今日は
ちょっと外に出よう」と帝国
ホテルのラウンジに。「井上義
國前近畿広島県人会会長から
関西に同窓会がないとの事だ
が、大津さん！少人数でもど
うだろうか？」との相談でし
たね。会議室での5分で済む
話が、心配りの先輩らしい舞

良いもんだ！ということ。
そして、こう思うのです。「国
泰寺高校の卒業生で良かつ
た！」と。

ご参加された皆さま、誠に

ありがとうございました！
ろくまるサイコー！！

(「ろくまる還暦会」

発起人 吉田 安孝)



台造りで後輩を立てて下さっ
た。此の歴史的「一コマ」が



鯉城関西の発足から現在に繋
がっています。顧問とは県人
会時代から昨年まで30年近く、
筆者の語に「うん、うん！そ
うか、有り難う！」。笑顔いっ
ぱいの包容力でした。以前、
岡田茂先輩(昭和17年卒)の
葬儀で「テレビ界と映画界と



の40数年間の仕事お付き合いの他に両県人会や鯉城東京と関西の絆があった」と、一中時より生涯岡田先輩を誇りに追悼話されましたね。

この数年間は、弱気の私に先輩の療養床からの励み、お見舞いで元気づけられました。先輩の傘寿を機会に最後の

森 重昭さん (昭30年卒)

2016年5月、現職の米国大統領として初めて広島市を訪問したオバマ氏が抱擁を

交わした森重昭先輩が3月14日に88歳で亡くなられた。世界に伝えられたこの抱擁は、

森先輩が長年にわたって被爆死した米兵12名の足跡について詳細な調査と家族との交流を重ね、国立原爆死没者追悼平和祈念館への遺影登録を実現するなどの功績に対して、米国大統領として感謝の気持ちを示されたものと推測する。一躍時の人として注目を浴びた森先輩にはその後多くの賞が授与されることとなるが、同年に贈られた菊池寛賞は、最も権威のある賞で、その功績の偉大さを多くの人が認めた結果だった。

同期会を京都「青龍苑(昭29卒五領田氏料亭)」でやりたーい」とお手伝いしました。人脈の広さ、全国から24名の著名同期生が参集。「重層で品位穏やかなお話しぶり雰囲気はこれが広島一中か」と。あれから20年経ち、旭会の皆様はご健在と存じますが、誠に

悼惜ながら在りし日を偲ぶご報告をさせていただきました。県人会と鯉城の両舞台でのご尽力に深く感謝し、筆者が「絆徳の師」と敬う先輩を偲び悼み、お静かに安らかに眠り下さい。合掌

(昭39年卒定 鯉城関西顧問 大津 巧)

私がお手伝いをしているNPO法人で、2022年に「森重昭さんのお話を聞く会」を開催し、森さんの少年時代から被爆体験、さまざまな活動に関わるきっかけなどについて詳しく語っていただいた。写真や地図などを整理し、パワーポイントの資料作りのお手伝いをし、ご自身の被爆体験を直接聞くことができた。

被爆者として原爆の恐ろしさを知る森さんの「原爆の悲劇に国境はない」という訴えを胸に刻み、核兵器の廃絶と世界の恒久平和実現のため、さまざまな活動を続けていきたいと考えている。

(昭48年卒 元国立広島原爆死没者追悼平和祈念館館長・叶真幹)

安井 千明さん (昭61年卒)

安井君の計報が届いたのは昨年10月16日。9月の邇保姫神社での二木会で話をしたのが最後となりました。今でも信じられません。

彼と出会ったのは江田島の切串中学2年の時。転校してきた彼とすぐに意気投合し、彼の家でビートルズを聴いたりゲームをしたり。僕等の青春の一ページです。ともに

国泰寺高校へ進学した後はクラスや部活が違い話す機会が減っていきましたが、大卒卒業後に広島で就職し、当番幹事を機に再会しました。

それ以降の彼の同窓会での活躍は皆様ご存じの通りです。特に野球部出身の私にとって忘れられないのが、2015年12月の「第一回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト」です。彼が中心メンバーとして奮闘してくれたおかげで、甲子園球場での再現試合が実現しました。この時初め



て、彼が高校野球の大ファンだったと知りました。

来年の還暦パーティーに向け実行委員会を立ち上げました。そこに彼がいなかったことが寂しくてたまりませんが、彼の想いを皆で受け継いでいきます。

安井、今までありがとね。来年はあんたの席も用意しとくけん、一緒に還暦のお祝いをしようや！

(昭61年卒 秋田 成人)

お悔やみ申し上げます

(令和7年7月26日から同8年7月23日の間に事務局に届いた死没者で過去掲載されていない方々、敬称略)
(※名字下の括弧内は旧姓)

井上 洋	(旧職員)	大川 俊幸	(昭27年)	三嶋(渡辺) 房江	(昭35年)	小田(藤沖) 節子	(昭42年)
峠 充哉	(旧職員)	香川 公士	(昭27年)	吉川 勝敏	(昭31年)	山本 泰英	(昭43年)
中村 武雄	(旧職員)	寺西(宮本) 美代子	(昭27年)	吉村 卓雄	(昭31年)	武良 阿部 紀子	(昭43年)
日吉 邦夫	(昭19年)	石田(若狭) 富美子	(昭27年)	西川(関谷) 浩子	(昭31年)	岩野 麻里	(昭43年)
竹内 圭三	(昭20年)	大内 義美	(昭27年)	向井 茂美	(昭31年)	竹内 行男	(昭43年)
永井 治	(昭20年)	栗原 智	(昭27年)	川崎(岡崎) 操子	(昭31年)	政岡 潔	(昭43年)
金澤 昭治	(昭20年)	阿部 穆	(昭27年)	田口(小川) ヒロミ	(昭31年)	松野 康治	(昭43年)
福山 昭正	(昭20年)	齊藤 禮聡	(昭27年)	片山 昌伸	(昭31年)	上野 実	(昭43年)
田中 利明	(昭21年)	永田(染中) 真砂江	(昭27年)	川崎 芳章	(昭31年)	築瀬(橋本) 信江	(昭44年)
鳥居 宏	(昭21年)	内藤 一晴	(昭27年)	佐藤 馨	(昭31年)	藤本 伸	(昭44年)
中村(橋本) 光昭	(昭22年)	中西 弘孝	(昭27年)	佐藤 廣二	(昭31年)	村田(青海) 喜代子	(昭44年)
巻幡 展男	(昭22年)	福田(平尾) 和枝	(昭27年)	立川 力三郎	(昭31年)	菅 トミ子	(昭45年)
織田 悦爾	(昭23年)	林田(山田) 洋子	(昭27年)	永井 文昭	(昭31年)	幸原 梶川 嘉子	(昭45年)
中村 晃三	(昭23年)	吉田(薮野) 節子	(昭27年)	村上 浩昭	(昭31年)	島田(川鍋) 陽子	(昭45年)
西山 時義	(昭23年)	有地 鎮雄	(昭27年)	青野(当具) 由子	(昭31年)	高丸 健児	(昭46年)
入澤 克彦	(昭24年)	吉川 大塚 秀雄	(昭27年)	太田代 捷	(昭31年)	富田 昭夫	(昭46年)
遠藤 久夫	(昭24年)	高木 片山 頼子	(昭27年)	手塚(金山) 伸子	(昭31年)	土井 良宣	(昭46年)
香川 了治	(昭24年)	杉目(高橋) 沙千榮	(昭27年)	木下 弘	(昭31年)	土井 三枝	(昭46年)
川上 博夫	(昭24年)	齊藤 安英	(昭27年)	久保 喜邦	(昭31年)	川田 定雄	(昭47年)
菊池 洋二	(昭24年)	玉崎 良朔	(昭27年)	佐々木 隆	(昭31年)	野口 英樹	(昭47年)
島本 次雄	(昭24年)	寺本 稔	(昭27年)	田丸 博敬	(昭31年)	濱内 一	(昭49年)
新見(野間) 隆壽	(昭24年)	窪田(本多) 由利子	(昭27年)	仁村(土屋) 淑子	(昭31年)	野村 実穂	(昭51年)
横繁 野間	(昭24年)	山村 晋一郎	(昭27年)	中島 忠実	(昭31年)	長瀬 英生	(昭53年)
宮下 金二郎	(昭24年)	吉永 博規	(昭27年)	西村 裕之	(昭31年)	山口 美津子	(昭54年)
宮地 薫造	(昭24年)	萬城(政田) 嘉子	(昭27年)	中川(松本) 恵子	(昭31年)	合屋 克志	(昭54年)
上谷 丈水	(昭24年)	小川 勝義	(昭27年)	三井 紘司	(昭31年)	島田 達也	(昭54年)
梶原 萩雄	(昭24年)	福井 満喜夫	(昭27年)	水澤 康一	(昭31年)	森 一夫	(昭54年)
熊岡 男也	(昭24年)	馬屋原 博	(昭27年)	宗像 正夫	(昭31年)	坂東(山本) 正実	(昭55年)
山根 松夫	(昭24年)	土井(馬場) 久栄	(昭27年)	吉田 俊一	(昭31年)	伊藤 哲也	(昭55年)
亀山(竹下) 孝子	(昭25年)	持本 義明	(昭27年)	沖田 博之	(昭31年)	松本 勇	(昭55年)
堀(龍田) 智賀子	(昭25年)	森 重昭	(昭27年)	新井(石田) 五樹	(昭31年)	榎上 和義	(昭55年)
平岡 昭	(昭25年)	新井 敏之	(昭27年)	蜂巣(岡本) 雅子	(昭31年)	村松 耕	(昭56年)
市川 和良	(昭26年)	原田 政嘉	(昭27年)	鹿島 紘至	(昭31年)	石井 宏幸	(昭56年)
藤本(倉本) 美枝子	(昭26年)	山中(奥井) 玖美代	(昭27年)	楠木 建史	(昭31年)	安井 千明	(昭56年)
砂田 洋右	(昭26年)	川西 武彦	(昭27年)	柴崎 貞美	(昭31年)	田辺(高山) 由佳	(昭56年)
松井 義量	(昭26年)	貞末 清	(昭27年)	藤原 勲	(昭31年)	手島 亨	(昭56年)
溝下 義量	(昭26年)					有末 廣子	(昭56年)
						大原 里子	(平7年)

生 学 奨 況

令和7年度BCA校 帰国報告



私たち8名は2026年3月にアメリカ海外研修を行いました。英語力の向上、グローバルな視点の獲得、姉妹校BCA校との交流を研修の目的とし、タイムズスクエアやアメリカ自然史博物館などの見学、国連本部の見学ツアー、姉妹校での授業体験や研究発表など、充実したプログラムを行いました。

研修の最たる目的である姉妹校との交流では、現地の皆様から私たちが温かく歓迎してくださり、全力で交流を楽しむことができました。研究発表では、多様なバックグラウンドを持つ現地の方々ならではの着眼点から鋭い質問や意見をいただき、研究を深化させるための貴重な経験となりました。また、街並みの壮大さや景色に何

度も圧倒され、世界の広さを実感すると同時に、日本の良さにも気づくことができました。

今回の研修では、英語力の向上だけでなく、積極性、協調性、自律性など多くのものを得ました。何よりも、不慣れな環境での「質問が聞き取れた」「英語で注文ができた」といった小さな成功体験の積み重ねが、私たちの大きな自信へとつながりました。

技術の発達により、大抵のことがインターネット上で完結する時代において、自らの足で日本を飛び出す決断をしてよかったです。先生方や家族、奨学財団の皆様、そして同窓会の先輩方をはじめとする多くの方々の支えがなければ、このような経験をすることはできませんでした。多くの人々への感謝の気持ちを忘れることなく、今回の経験を必ず将来につなげていきます。この度は多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。

広島国泰寺高等学校

3年 榎原 湊介

地球総合工学科で 最先端の研究を学ぶ

大阪大学に入学して数か月

経ちました。数多くの最先端の研究が行われ、高度な授業も展開されていることに加え、二つの学祭、ソウルフードである天津麻婆丼（とても美味）、マスコットのワニ博士など学び以外にも面白さに溢れています。1年次には全員が豊中キャンパスで学ぶため、様々な学部の学生と交流することができま

す。私が所属する工学科の地球総合工学科には船舶海洋、社会基盤、建築の三つのコースが存在し、2年次に分属が行われます。1年生の間には、地球総合工学概論という授業があり、三つのコースの概要や研究内容を学ぶことができます。私は社会基盤コースで交通計画を学

ぶという目標がありますが、この概論の授業を通じてこれまで知らなかった分野にも触れることができ、自分の視野が広がる非常に良い機会だと感じています。

私は将来、JRに就職して社会基盤工学コースで学んだ交通計画の知識を活かしたいと考えています。そのためにはまず2年次の分属。大阪大学での日々を堪能しながら目標に向けて勉学に励んでいきたいです。

大阪大学1年

直井 樫太郎(令和8年卒)

